

たんぽぽだより

春日こども園

令和6年度 活動報告 NO. 8



<ごっこ遊び> みんなで話し合って何を作るか決めました。1組は、わたあめ屋さんとポップコーン屋さん、2組は、ドーナツ屋さんとクッキー屋さんになりました。商品づくりでは、いろいろな技法を使いイメージしたものが形になるように作りました。出来上がってくると、「本物みたい!」「美味しそう」と目を輝かせていました。買ってもらう時やお店に買いに行く時には、何て言えばいいのか全員で考えました。遊びはじめは緊張していましたが、保育者や友達と一緒に声を合わせて言うことで自信がつき、「いらっしゃいませ!」「おすすめはこれです」などと、大きな声で言えるようになりました。お客さんになった時には、「これください」「ごちそうさまでした!」と言いながら、言葉のやりとりを楽しみました。繰り返し遊ぶなかで、自分たちで役割分担をしたり準備をしたりして主体的に遊びを進める姿もみられました。

<集団遊び> 「フルーツバスケット」や「動物バスケット」などの集団遊びをしました。「友達の言葉をよく聞いてから、移動する」「空いている席を見つけたらすぐ座る」などのルールを守りながら遊びました。空いている席を友達に教えてあげる子も見られました。友達と思いを伝え合いながら遊ぶ楽しさを味わい、楽しく遊ぶためには一人ひとりがルールを守ることが大切だと知ることができました。



<お別れ会> ゆり組さんとお別れ会では、『ありがとう』の気持ちを込めて作ったペン立てと、「みんなともだち」の歌のプレゼントをしました。異年齢でグループを作り、O×クイズやリズムダンスをしました。一緒に手を繋いで移動したり、ふれあいながら笑顔で踊ったりする姿がみられました。今までたくさんお世話になったゆり組さんに、感謝の気持ちを伝えることができました。

<園外保育> ひまわり組さんと春日神社に行きました。神社に着くと、お姉さん・お兄さんたちが「どれで遊びたい?」と声をかけてくれ、シーソーやブランコなどの遊具と一緒に遊びました。遊んでいるうちに緊張もほぐれ、「むこうに行こう!」「次は〇〇で遊びたい」と自分の気持ちを伝えながら遊ぶことができました。優しく接してくれたひまわり組さんに憧れの気持ちを感じていました。今後も、思いやりの心が育つように異年齢交流を続けていきます。

<3月誕生会> 「クラス・名前」を発表したり、友達からの質問に答えたりしました。今年度最後の誕生会ということで、たんぽぽ組で歌った歌を、ピアノの前奏を聴いて当てるクイズをしました。今まで歌った歌を思い出しながら、楽しくクイズに参加していました。1年間で、たくさんの歌を覚えて歌えるようになり、友達と一緒に気持ちを揃えて歌う楽しさも感じるようになりました。